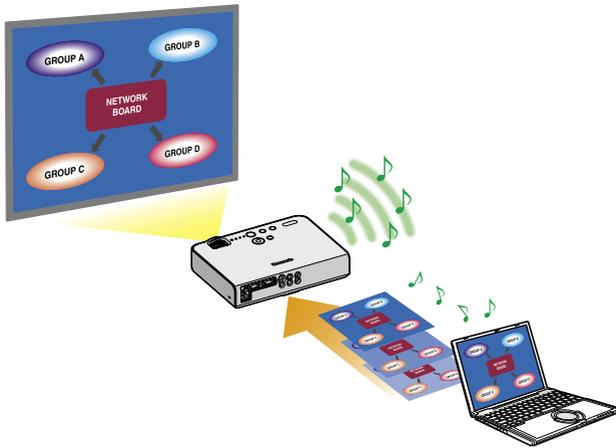


ワイヤレス機能編

(TH-LB50NT/TH-LB55NT/TH-LB60NT)



※プロジェクターの図は TH-LB50NT の例です。

もくじ (ワイヤレス機能編)

ワイヤレス接続機能使用上のお願い…	4	ご使用のパソコンをご確認ください…	8
こんなことができます…	6		

ソフトウェアのインストール…	9	付属のCD-ROMの内容…	10
必要なシステム構成…	9	Wireless Manager ME 3.0 …	10
		DirectX 9.0c …	11

Wireless Manager ME 3.0 を インストールしないで試してみる …	12
--	----

接続する…	13	アクセスポイント経由で接続する …	19
接続先の選択画面…	13	接続のその他の操作…	20
ワイヤレス簡単接続…	14	接続時にパスワードが必要なときの操作…	20
接続エラーメッセージ …	16	接続先の追加と削除 …	20
ワイヤレス簡単接続をしないで接続する…	17	接続先をIDで検索する …	21
コンピュータの管理者の権限がない場合…	17	接続を解除する …	22

いろいろな投写方法…	23	4画面マルチスタイル …	27
ランチャーの操作方法…	23	4画面インデックススタイル …	28
ライブモード…	25	16画面インデックススタイル…	30
マルチライブモード…	26	複数台ライブモード…	31
スタイルを切り替える …	26	複数台マルチライブモード…	33

便利な機能…	35	動画送信モード…	38
エリア指定送信機能…	35	シャッター機能…	40
セカンダリーディスプレイ送信機能…	36	ポインター機能…	40
セカンダリービューアー …	37	各投写方法で使える機能一覧…	40
ワンショット機能…	37		

もくじ (ワイヤレス機能編) (つづき)

オプションを設定する……………	42	キー設定……………	43
オプション画面の設定……………	42	その他……………	44
送信設定……………	42	バージョン情報……………	44
<hr/>			
プロジェクターのネットワーク設定…	45	設定状態の確認……………	48
ワイヤレスメニューの表示……………	45	初期設定に戻す……………	48
ネットワーク番号を変更する……………	46	[USER] 設定……………	49
プロジェクター名を変更する……………	46	IP アドレス設定……………	49
パスワードの設定……………	47	ワイヤレス設定……………	50
		[USER1] ~ [USER3] の工場出荷設定…	52
<hr/>			
WEB ブラウザで操作する ……	53	プロジェクターコントロール画面 …	57
WEB 制御を行う前に……………	53	モニター情報画面……………	58
WEB ブラウザからアクセスする ……	56	パスワード変更画面……………	58
		ネットワーク設定画面……………	59
<hr/>			
ソフトウェアのアンインストール …	60	Wireless Manager ME 3.0……………	60
<hr/>			
用語解説……………	61	困ったとき……………	63

—以下のことをあらかじめご了承ください。

- プロジェクターの使用または故障により生じた直接、間接の損害につきましては、当社は一切の責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。
- プロジェクターによるデータの破損につきましては、当社は一切の責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。

ワイヤレス接続機能使用上のお願い

プロジェクターのワイヤレス接続機能使用時は、2.4 GHz 帯域の電波を使用します。無線局の免許は必要ありませんが、下記の内容を十分理解してご使用ください。

■ 他の無線機器の近くで使用しないでください。

下記の機器は、プロジェクターと同じ帯域の電波を使用している可能性があります。これらの近くでプロジェクターを使用すると、電波の干渉により通信できなくなったり、通信速度が遅くなったりする場合があります。

- 電子レンジなど
- 産業・科学・医療用機器など
- 工場の製造ラインなどで使用されている移動体識別用の構内無線局
- 特定小電力無線局

■ プロジェクターの近くでは、携帯電話・テレビ・ラジオをできるだけ使用しないでください。

携帯電話・テレビ・ラジオなどは、プロジェクターと違う帯域の電波を使用しておりますので、ワイヤレスの通信や、これらの機器の送受信には影響ありません。しかし、プロジェクターからの電波により、音声や映像にノイズが発生することがあります。

■ 鉄筋・金属・コンクリートなどは、ワイヤレス通信の電波を通しません。

木材やガラス（金属メッシュ入りガラスを除く）などの壁や床を通して通信することはできますが、鉄筋・金属・コンクリートなどの壁や床を通して通信することはできません。

この機器の使用周波数帯では、電子レンジ等の産業・科学・医療用機器のほか工場の製造ライン等で使用されている移動体識別用の構内無線局（免許を要する無線局）及び特定小電力無線局（免許を要しない無線局）並びにアマチュア無線局（免許を要する無線局）が運用されています。

- 1 この機器を使用する前に、近くで移動体識別用の構内無線局及び特定小電力無線局並びにアマチュア無線局が運用されていないことを確認して下さい。
- 2 万一、この機器から移動体識別用の構内無線局に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合には、速やかに使用周波数を変更するか又は電波の発射を停止した上、下記連絡先にご連絡頂き、混信回避のための処置等（例えば、パーティションの設置など）についてご相談して下さい。
- 3 その他、この機器から移動体識別用の特定小電力無線局あるいはアマチュア無線局に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合など何かお困りのことが起きたときは、次の連絡先へお問い合わせ下さい。

お客様ご相談窓口

 (06) 6906-2894

ワイヤレス接続機能使用上のお願い (つづき)

■ 国外での取り扱いについて

プロジェクターは、お買い求めの国または地域からの持ち出しが禁止されていますので、お買い求めの国または地域でのみ使用してください。また、無線 LAN を使用できるチャンネルや周波数は国や地域により制限があります。

■ 使用できるチャンネルについて

国または地域によって使用できるチャンネル（周波数範囲）が異なります。下記の表を参照してください。

国または地域	規格	使用チャンネル	周波数帯域 (中心周波数)
日本	ARIB STD-T66	1 - 13	2,412 MHz - 2,472 MHz
中国	SRRC		
イギリス、ドイツ、 フランス、スペイン イタリア、ベルギー、 オーストリア、 スウェーデン、 ノルウェー、デンマー ク、スイス、オランダ、 フィンランド、 ポルトガル、ギリシャ、 タイ、韓国	ETSI 300.328		
シンガポール	IDA		
オーストラリア、 ニュージーランド	C-Tick		
マレーシア	SIRIM		
アメリカ	FCC part 15	1 - 11	2,412 MHz - 2,464 MHz
台湾	DGT		

こんなことができます

●ワイヤレス送信

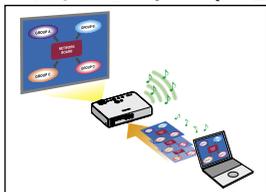
Wireless Manager mobile edition 3.0 (以後、Wireless Manager ME 3.0 と表記) をインストールすれば、ワイヤレス LAN を通じてプロジェクターとパソコンをワイヤレスで接続し、動画や静止画を送信できます。

- ワイヤレス簡単接続 (→ 14 ページ)
- コンピュータの管理者 (Administrator) の権限がない場合 (→ 17 ページ)
- 構内無線 LAN に接続しながらワイヤレス送信する (ワイヤレスアクセスポイント (以後、アクセスポイント*と表記) 経由で接続する) (→ 19 ページ)

※ 「用語解説」 → 61 ページ

●いろいろな方法で投写する

<ライブモード> (→ 25 ページ)



通常のプレゼンテーションで使用します。

<マルチライブモード>

<4画面マルチスタイル> (→ 27 ページ)



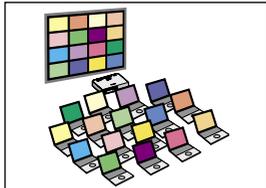
複数台のパソコンのプレゼンテーションに使用します。

<4画面インデックススタイル> (→ 28 ページ)



4つのプレゼンテーションを表示しながら、その中の1つに注目を集めたい場合に、このスタイルが便利です。

<16画面インデックススタイル> (→ 30 ページ)



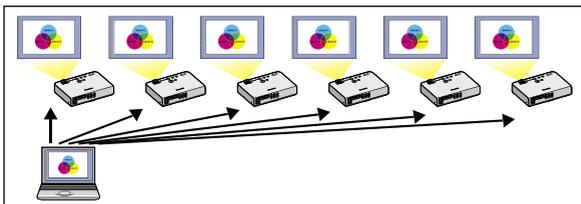
多くのプレゼンテーションを一覧表示したい場合に、このスタイルが便利です。

こんなことができます (つづき)

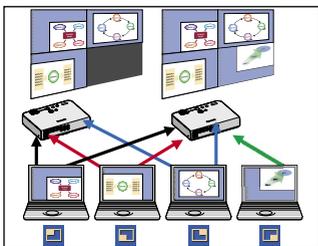
●複数台のプロジェクターに送信する

<複数台ライブモード> (→ 31 ページ)

大きな会議室で複数のプロジェクターが設置されている場合や、複数の会議室でプレゼンテーションを同時に進行する場合などに活用できます。



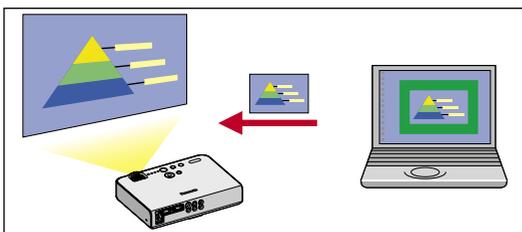
<複数台マルチライブモード> (→ 33 ページ)



複数のプレゼンテーションを複数のプロジェクターに同時に表示したい場合などに活用できます。

●便利な機能

<エリア指定送信機能> (→ 35 ページ)



パソコンで表示されている画面のうち、必要な情報のみをエリア指定ウィンドウで指定し、投写画面に表示することができます。

<セカンダリーディスプレイ送信機能> (→ 36 ページ)

パソコン画面とプロジェクター画面をマルチモニターに設定し、パソコン画面をプライマリモニター、プロジェクター画面をセカンダリーモニターとして使用します。パソコン画面に参考資料を表示しながら、プロジェクター画面でプレゼンテーションを行う場合に便利です。



ご使用のパソコンをご確認ください

接続に必要なパソコン環境

- はじめに、お使いのパソコンにワイヤレス LAN^{*}機能が装備されているかどうかをご確認ください。 ※ LAN：「用語解説」→61 ページ
- プロジェクターとパソコンを接続する前に、必ず以下の設定をご確認ください。
- すべてのワイヤレス LAN カードやパソコン内蔵のワイヤレス LAN アダプタでの動作を保証するものではありません。

チェック 1 ワイヤレス LAN の設定

<ワイヤレス LAN 機能が内蔵されているパソコン>

- ワイヤレス LAN が有効になっていますか。
- ワイヤレス LAN 機能内蔵パソコンでは、内蔵のワイヤレス LAN をご使用ください。別のワイヤレス LAN カードは挿入しないでください。

<ワイヤレス LAN 機能が内蔵されていないパソコン>

- ワイヤレス LAN カードが正しく認識されていますか。
- ワイヤレス LAN カードが有効になっていますか。
- 事前にワイヤレス LAN カードのドライバーをインストールしてください。ドライバーのインストール方法は、ワイヤレス LAN カードの取扱説明書を参照してください。
- 動作確認済のワイヤレス LAN カードについては下記のホームページをご覧ください。
<http://panasonic.biz/projector>

チェック 2 ログオンするユーザーの設定

- [コンピュータの管理者 (Administrator)] の権限でログオンできますか。

チェック 3 パソコンの設定

- セキュリティ (ファイアウォール) ソフトやネットワークカードのユーティリティソフトがインストールされていると、プロジェクターと接続できない場合があります。

< Windows XP の場合 >

- ネットワークブリッジを設定していませんか。
- ファイアウォールは無効になっていますか。

お知らせ

本書では、パソコンの操作は Windows XP を例に説明しています。

ソフトウェアのインストール

必要なシステム構成

付属のソフトウェアを使用するには下記の条件を満たすコンピューターが必要です。

- OS: Microsoft Windows 2000 Professional/XP Home Edition/
XP Professional
- CPU: Pentium III 以上もしくは互換のプロセッサ搭載（ライブモード使
用時は 800 MHz 以上を推奨、動画再生時は 1 GHz 以上を推奨）
- メモリー: 256 MB 以上
- ハードディスクの空き容量: 60 MB 以上
- ハード条件: CD または DVD ドライブ（ソフトウェアのインストール、取扱説明
書の閲覧）
802.11 b/g 対応のワイヤレス LAN 内蔵か、外付けの 802.11 b/
g 対応ワイヤレス LAN カードが正常に動作すること。
ただし、802.11 b/g 対応のワイヤレス LAN であっても、802.11
g でプロジェクターと接続できない場合があります。
- WEB ブラウザ: Internet Explorer 6.0 以上
Netscape Communicator 7.0 以上
- DirectX: DirectX 8.1b 以上が動作する環境

お知らせ

上記のシステム環境以外で使用された場合、および自作コンピューターで使用された
場合の動作保証は一切いたしませんので、あらかじめご了承ください。

**上記の条件を満たす、すべてのコンピューターに
ついて動作を保証するものではありません。**

ソフトウェアのインストール (つづき)

付属の CD-ROM の内容

付属の CD-ROM を CD-ROM ドライブにセットすると、自動的にインストールプログラムが起動し、下の画面が表示されます。



お知らせ

- Windows 上で起動しているすべてのソフトを終了してください。インストールできなくなる場合があります。
- インストールするためには、[コンピュータの管理者 (Administrator)] の権限が必要です。
- 自動的に起動しないときは、CD-ROM 内の [EasyInstall] → [Easy_Inst.exe] をダブルクリックしてください。
- Wireless Manager ME 1.0 または 2.0 がインストールされている場合は、画面の指示に従ってアンインストールしてください。

Wireless Manager ME 3.0

ワイヤレス LAN で、パソコンから画面をプロジェクターに送るために使用します。

- 1 [Wireless Manager ME 3.0] をクリックする
画面の指示に従ってインストールしてください。

ソフトウェアのインストール (つづき)

DirectX 9.0c

この CD-ROM には、DirectX 9.0c を収録しています。プロジェクターで動画送信をするためには、パソコンに DirectX 8.1b 以上が必要です。

お願い

- インストール後、DirectX 9.0c のランタイムを削除（アンインストール）することはできません。
- Windows XP SP2 には DirectX 9.0c が既にインストールされていますので新たにインストールする必要はありません。（インストールされている DirectX のバージョン確認方法：[スタート] → [ファイル名を指定して実行] → [dxdiag] と入力し [OK] を選択 → [DirectX 診断ツール] が表示されます。[システム] タブの [システム情報] で [DirectX バージョン] を確認してください。）
- DirectX 9.0c の導入によって、まれにコンピューターが正常に起動できなくなることがあります。導入の際には、必ず事前に、ご使用のコンピューターのビデオカードが DirectX 9.0c に対応していることを PC メーカーなど、サポート先でご確認ください。
- DirectX 9.0c よりも新しいバージョンでは、Wireless Manager ME 3.0 の動作は保証されません。

1 10 ページの画面で [DirectX 9.0c] をクリックする

DirectX の使用許諾画面が表示されます。



2 [同意します] にチェックを入れ [次へ] をクリックする

DirectX のランタイムコンポーネントインストール画面が表示されます。



3 [次へ] をクリックする

- DirectX のコンポーネントインストールの進行状況画面が表示されます。
- インストールが完了するまでパソコンを操作しないでください。



4 右の画面が表示されたら、[完了] をクリックする



Wireless Manager ME 3.0 をインストールしないで試してみる

Wireless Manager ME 3.0 をパソコンにインストールせずに使用することができます。

SDカードなどのリムーバブルメディアに Wireless Manager ME 3.0 をコピーしておくと、それらのリムーバブルメディアがアクセスできるどのパソコンでも Wireless Manager ME 3.0 をインストールせずに使用することができます。

- 1 付属の CD-ROM を CD-ROM ドライブにセットする
起動画面が表示されます。
- 2 [インストールしないで試してみる] をクリックする
画面に [CD-ROM から起動] と [他メディアにコピーして起動] が表示されます。
- 3 ① Wireless Manager ME 3.0 をコピーせずにすぐ使う
場合： [CD-ROM から起動] をクリックする
Wireless Manager ME 3.0 が起動され、「接続先の選択」画面が表示されます。インストールした場合と同じ手順で操作できます。
② Wireless Manager ME 3.0 をコピーする場合：
[他メディアにコピーして起動] をクリックする
保存（コピー）先を選択するウィンドウが開きます。

<手順 3 で②を選んだ場合のみ、手順 4～5 を行ってください。>

- 4 保存先を選択し、[OK] をクリックする
CD-ROM のプログラムが保存先にコピーされます。
コピーが終了すると、起動画面の [終了] をクリックしてください。
- 5 手順 4 で選択した保存先の中の Wireless Manager ME 3.0 のアイコン (WM.exe) をダブルクリックする
Wireless Manager ME 3.0 が起動します。
インストールした場合と同じ手順で操作できます。
保存先にリムーバブルメディアを選択した場合は、リムーバブルメディアをプロジェクトに接続したいパソコンに認識させてください。
リムーバブルメディアによっては、自動的に起動する場合があります。

お知らせ

- インストールしないで使う場合は、下記の機能は使用できません。
 - エリア指定送信機能（→ 35 ページ）
 - セカンダリーディスプレイ機能（→ 36 ページ）
 - 動画送信モード（→ 38 ページ）
 - ライブモード時に映像といっしょに音声も出力させる機能
- インストールして使用する場合に比べ、動作が遅くなります。

接続する

接続先の選択画面

デスクトップの  をクリックする

または、[スタート] → [すべてのプログラム] → [Panasonic Wireless Display] → [Wireless Manager mobile edition 3.0] を選択する

Wireless Manager ME 3.0 が起動され、「接続先の選択」画面が表示されます。

① ネットワーク

プロジェクターで設定されたネットワーク番号 (→ 46 ページ) を [1] [2] [3] [4] [U (ユーザー)] *1 から指定すると、そのネットワークの電源が入っているプロジェクターが [プロジェクター名] 欄に表示されます。パソコン、プロジェクターともに初期値は [1] *2 です。

※ 1 ~ 2 (→ 15 ページ)



⑩ 指定 (→ 20 ページ)

①で [U] を選択すると、あらかじめ登録しておいたプロジェクターを選択できます。

⑪ ID 検索 (→ 21 ページ)

[ID 検索] をクリックすると、現在電源の入っているプロジェクターの中から、指定した ID を持つプロジェクターを [U] 以外の全チャンネルから検索します。

■ 接続するには

- ・ワイヤレス簡単接続 (→ 14 ページ)
- ・[コンピュータの管理者 (Administrator)] の権限がない場合 (→ 17 ページ)
- ・構内無線 LAN に接続してワイヤレス送信する (アクセスポイントを経由して接続する) (→ 19 ページ)

② ID (→ 21 ページ)

プロジェクターの ID が表示されます。

③ モード (→ 25 ページ)

プロジェクターで設定されているモードやスタイルを表示します。

④ 接続のパスワードが必要な場合は  が表示されます。(→ 20 ページ)

⑤ 接続状態

⑥ 接続人数

⑦ 接続モード

接続するプロジェクターが 1 台の場合は  を、複数台の場合は  をクリックします。

⑧ 使用可能なモード/機能

[ライブ] [マルチライブ] [ワンショット] [動画送信] の 4 つの機能のうち、使用できないモード/機能は  が表示されます。

⑨ 接続確認

[接続確認] をクリックすると、選択したプロジェクターの画面左上にプロジェクター名と ID を表示します。正しく表示できた場合、パソコン画面に「接続可能です」と表示されます。

接続する (つづき)

ワイヤレス簡単接続

ワイヤレス LAN 内蔵パソコン、またはワイヤレス LAN カードを挿入したパソコンで、Wireless Manager ME 3.0 を起動すると、自動的に接続の設定が行われます。

1 プロジェクターの電源をオンにする

2 リモコンの [WIRELESS] ボタンを押す

プロジェクターがワイヤレス入力に切り替わります。
(リモコンの [INPUT SELECT] ボタン、または本体の [INPUT] ボタンでも入力が切り替わります。)

3 パソコンの電源をオンにする

4 デスクトップの [] をクリックする または、[スタート] → [すべてのプログラム] → [Panasonic Wireless Display] → [Wireless Manager mobile edition 3.0] を選択する

Wireless Manager ME 3.0 が起動され、「接続先の選択」画面が表示されます。

5 [ネットワーク] で、接続するプロジェクターと同じネットワーク番号を選択する

ネットワーク内の電源が入っているプロジェクターが表示されます。

6 接続するプロジェクターを選択し、[OK] をクリックする

プロジェクターとの接続が確立されると、下記のランチャー画面が表示されます。(「ランチャーの操作方法」→ 23 ページ)

ランチャーはパソコン画面に常駐し、各種操作をするために使用します。
ランチャーはパソコン画面にのみ表示され、プロジェクターには投写されません。



接続する (つづき)

お知らせ

- プロジェクターとパソコンがワイヤレス接続できない (→ 63 ページ)
- 自動接続設定 (→ 44 ページ)

※ 1

- [コンピュータの管理者 (Administrator)] の権限でログオンしていない場合、[U] のみ選択できます。
- ご使用のパソコンやワイヤレス LAN カードによっては、ワイヤレス簡単接続ができないことがあります。そのとき、「接続先の選択」画面の [ネットワーク] の設定は自動的に [U] に切り替わります。このときの接続方法については、いったん Wireless Manager ME 3.0 を終了させたうえで、17 ~ 19 ページをご覧ください。

※ 2

- プロジェクターと Wireless Manager ME 3.0 の初回起動時のネットワーク番号は共に [1] です。接続するためにはこの番号が一致している必要があります。プロジェクターのネットワーク番号を確認するには、プロジェクターのワイヤレスメニューを確認してください。
- ネットワーク番号 [2] ~ [4] は、WEP (ワイヤレス通信の暗号化) が設定されていますので、セキュリティを重視される場合は、[2] ~ [4] を設定してください。
- 映像/音声データは、[暗号化] を [無し] に設定した場合でも、あらかじめ全ネットワーク番号において AES *暗号処理が施されていますので重要なデータは保護されます。 ※ 「用語解説」 → 62 ページ
- 簡単接続中は、他のネットワークアダプタが使用できないことがあります。
- 簡単接続中は、ワイヤレス LAN カードで接続している他のネットワークとの接続が解除されます。

接続する (つづき)

接続エラーメッセージ

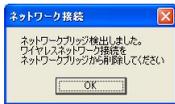
ワイヤレス接続できないとき、下記の画面が表示されることがあります。

ワイヤレス LAN カードの設定エラーを検出したとき (→ 63 ページ)



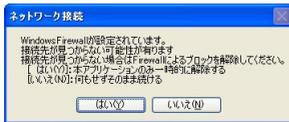
- ワイヤレス LAN カードは有効になっていますか。
- ワイヤレス LAN カードは正しく認識されていますか。
- ワイヤレス LAN カードのドライバーのアップデートを行うことで簡単接続が動作するようになる場合があります。

ネットワークブリッジ設定を検出したとき (→ 64 ページ)



ネットワークブリッジを使用することがなく、不要な場合は、ネットワークブリッジを削除してください。

Windows Firewall を検出したとき (→ 65 ページ)



- Windows XP のファイアウォールは無効になっていますか。
- Windows XP SP2 の [コントロールパネル] → [セキュリティセンター] → [Windows ファイアウォール] → [例外] タブに、本ソフトが登録されていますか。

その他の Firewall を検出したとき (→ 66 ページ)



ファイアウォール機能を備えたアプリケーションソフトウェアがインストールされていませんか。

[コンピュータの管理者 (Administrator)] の権限がないとき (→次ページ)



[コンピュータの管理者 (Administrator)] の権限がないユーザーや「GUEST」でログオンした場合は、ワイヤレス簡単接続 (ネットワーク番号 [1] ~ [4]) ができません。ワイヤレス簡単接続する必要がある場合は、ネットワーク番号の [U] を使用してください。

ユーティリティによる設定変更を検出したとき



パソコンで使用されているワイヤレス LAN のユーティリティが無線の設定を変更している場合があります。ユーティリティを終了させてから再度、簡単接続で接続を行ってください。

接続する (つづき)

ワイヤレス簡単接続をしないで接続する

コンピュータの管理者の権限がない場合

Wireless Manager ME 3.0 を起動する前に、あらかじめ「パソコンの設定」(本ページの②)を [コンピュータの管理者 (Administrator)] の権限で行っておく必要があります。その後、制限ユーザーや [GUEST] でログオンし、Wireless Manager ME 3.0 を起動させます。

ネットワークの設定については、ネットワーク管理者の指示に従って設定してください。以下はプロジェクターがデフォルトの場合の例です。

① プロジェクターの設定 ※「用語解説」→ 61～62 ページ

- 1 プロジェクターの電源をオンにし、リモコンの [WIRELESS] ボタンを押す
- 2 ワイヤレスメニューで、[ネットワーク] を [USER1] ～ [USER3] から選択し、[決定] ボタンを押す
- 3 ネットワークの詳細を設定し、[確定] を選択する
ネットワークの設定項目は 49～52 ページをご覧ください。
個々の設定内容はネットワーク管理者に確認してから行ってください。
<例>

DHCP*	オフ
IP アドレス*	192.168.10.100
サブネットマスク*	255.255.255.0
SSID*	Panasonic Projector
モード	AD HOC*
認証	オープン* (接続するパソコンによっては [共有*] の場合があります。)
暗号化	無し…暗号化しない場合 WEP…暗号化する場合
暗号キーの設定	[暗号化] を [WEP*] に設定した場合： デフォルトキー : デフォルトのキーとして使用する番号を 1～4 から選択 キー 1～4 : [デフォルトキー] で選択したキー番号に WEP キーを設定

② パソコンの設定

4 パソコンの電源を入れ、[コンピュータの管理者 (Administrator)] の権限でログオンする

[スタート] → [コントロールパネル] → [ネットワークとインターネット接続] → [ネットワーク接続] → [ワイヤレスネットワーク接続] を右クリックし、[プロパティ] を開く。

[ワイヤレスネットワーク接続のプロパティ] 画面が表示されます。

接続する (つづき)

- 5 [全般] タブで [インターネットプロトコル (TCP/IP^{*})] を選択し、[プロパティ] をクリックする
[インターネットのプロトコル (TCP/IP) のプロパティ] 画面が表示されます。
- 6 [全般] タブの [次の IP アドレスを使う] を選択し、IP アドレスとサブネットマスクを設定し、[OK] をクリックする
IP アドレスは、4つの区切りの内、上位3つはプロジェクターと同じ値にし、最後の区切りの値だけ変えてください。
サブネットマスクは、プロジェクターと同じ値にしてください。
- 7 「ワイヤレスネットワーク接続のプロパティ」画面で、[ワイヤレスネットワーク] タブ→ [優先ネットワーク] の [追加] をクリックする
[ワイヤレスネットワークのプロパティ] 画面が表示されます。
- 8 SSID、ネットワークの認証、データの暗号化、通信モードを手順3と同じ設定にし、[OK] をクリックする
- 9 [ワイヤレスネットワーク接続のプロパティ] の [OK] をクリックする
接続が確立されます。
- 10 [スタート] → [ログオフ] をクリックし、ログオフする

③パソコンの操作

- 11 実際に Wireless Manager ME 3.0 を操作するユーザーでログオンする
- 12 Wireless Manager ME 3.0 を起動し、「接続先の選択」画面の [ネットワーク] で [U] を選択する

お知らせ

プロジェクターが表示されていない場合は、[指定] → [追加] をクリックし、「接続先の登録」画面でプロジェクターに設定されている IP アドレスを入力して [登録] をクリックしてください。(→ 20 ページ)

- 13 接続するプロジェクターを選択し、[OK] をクリックする
プロジェクターとの接続が確立されると、ランチャー画面が表示されます。
(「ランチャーの操作方法」→ 23 ページ)

接続する (つづき)

アクセスポイント経由で接続する

インフラストラクチャーモード* (アクセスポイント経由での接続) の設定ができます。
ただし、ネットワークの設定はネットワーク管理者に確認してから行ってください。

※ 「用語解説」 → 62 ページ

① プロジェクターの設定

- 1 プロジェクターの電源をオンにし、リモコンの [WIRELESS] ボタンを押す
- 2 ワイヤレスメニューで、[ネットワーク] を [USER1] ~ [USER3] から選択し、[決定] ボタンを押す
- 3 ネットワークの詳細を設定し、[確定] を選択する
ネットワークの設定項目は 49 ~ 52 ページをご覧ください。
個々の設定内容はネットワーク管理者に確認してから行ってください。

② パソコンの設定

- 4 パソコンの電源をオンにする
- 5 ネットワークの管理者の指示に従い、ネットワークの設定を行う
- 6 アクセスポイントに接続する
- 7 Wireless Manager ME 3.0 を起動し、「接続先の選択」画面の [ネットワーク] で [U] を選択する

お知らせ

プロジェクターが表示されていない場合は、[指定] → [追加] をクリックし、「接続先の登録」画面でプロジェクターに設定されている IP アドレスを入力して [登録] をクリックしてください。(→ 20 ページ)

- 8 接続するプロジェクターを選択し、[OK] をクリックする
プロジェクターとの接続が確立されると、ランチャー画面が表示されます。
([ランチャーの操作方法] → 23 ページ)

接続する (つづき)

接続のその他の操作

接続時にパスワードが必要なときの操作

[🔒] マークのあるプロジェクターを選択した場合は、右の画面が表示されます。パスワードを入力し [OK] をクリックしてください。(→ 47 ページ)



お知らせ

- パスワード入力画面で [キャンセル] をクリックすると、ランチャー (→ 23 ページ) に移行します。
- 誤ったパスワードを入力した場合は、エラーメッセージが表示されます。 [OK] をクリックしてパスワード入力画面に戻り正しく再入力してください。

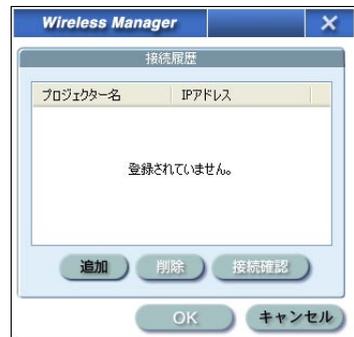
接続先の追加と削除

「接続先の選択」画面の [ネットワーク] が [U] で、接続したいプロジェクターが表示されないときは、下記の操作で接続先の追加削除を行います。

■ 接続先の追加

1 「接続先の選択」画面で [指定] をクリックする

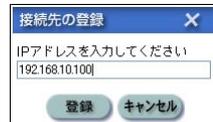
右の画面が表示されます。



2 [追加] をクリックし、追加したい接続先の IP アドレス* (ピリオドも含む) を入力して [登録] をクリックする

※ 「用語解説」→ 61 ページ

手順 1 の画面の接続先リストに今登録した接続先が追加されます。



■ 接続先の削除

上記手順 1 の画面で削除したい接続先を選択して [削除] をクリックしてください。

接続する (つづき)

接続先を ID で検索する

同名のプロジェクターが 2 台以上あるときでも識別できるように、プロジェクターに ID ([Proj] + 4 桁の数字) が割り当てられています。[ID 検索] をクリックすると、現在電源の入っているプロジェクターの中から、指定した ID を持つプロジェクターを [U] 以外の全チャンネルから検索します。ID は事前に知っておく必要があります。プロジェクターで入力選択を WIRELESS に切り替えたときに、投写画面の右上に約 5 秒間 ID が表示されます。または、あらかじめ「接続先の選択」画面の [ID] 欄に表示される ID を記録しておく、次回からは接続先を ID で検索することができます。

1 ランチャーの をクリックする

「接続先の選択」画面が表示されます。



2 [ID 検索] をクリックする

「プロジェクターの検索」画面が表示されます。



3 検索したいプロジェクターの ID (数字 4 桁) を入力し、[検索] をクリックする

検索を開始します。

4 該当する ID のプロジェクターが見つかったら、そのプロジェクターに接続され、ランチャーのステータス表示が緑色になります

該当する ID が見つからなかった場合、エラーメッセージが表示されます。

接続する (つづき)

接続を解除する

1 ランチャーの をクリックする

下の画面が表示されます。



2 **【はい】** をクリックする

終了時にパソコンのネットワーク設定が元に戻ります。
ただし、元のネットワーク設定に戻るまで時間を要することがあります。

お知らせ

ランチャーを最小化している場合は、タスクトレイの  を右クリックして、ポップアップメニューの「終了」をクリックしてください。

いろいろな投写方法

ランチャーの操作方法

ランチャーはパソコンの画面に常に表示され、各種操作を行います。

- ランチャー表示モードには、「簡易ランチャー」と「フルランチャー」の2種類あります。

デフォルトは、「簡易ランチャー」が表示されます。ランチャーの右端にある▶/▶ををクリックすると、ランチャーの表示が切り替わります。

Wireless Manager ME 3.0を終了した時の表示モードが、次回起動時に表示されます。

- ランチャーボタンの表示サイズは「小さいボタン」と「大きいボタン」の2種類あり、表示サイズの変更は「オプション」画面（→44ページ）の「ランチャーサイズ設定」で設定できます。
- タスクトレイの [WM] を右クリックするとメニューが表示されます。



■ ステータス表示

- ① ステータス：接続状態を表示します。

ランチャーの [■] にカーソルを持っていくと、接続しているプロジェクターのプロジェクター名、ID、状態がポップアップで表示されます。

送信可能
プロジェクター名:[ID]:状態
LB50NT : [Proj2207]: OK

一台接続の場合

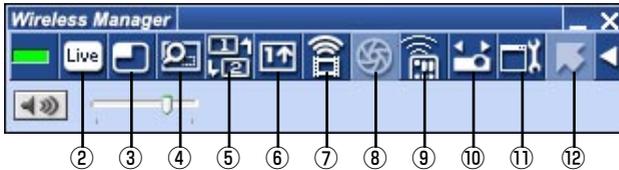
- (緑色点灯)：送信可能
- (青色点滅)：自分が送信中 (ライブモード/動画送信のとき)
- (黄色点灯)：他のユーザーが送信中
- (赤色点灯)：通信不可能
- (黒色点灯)：プロジェクターが選択されていないとき

複数台接続の場合

- (緑色点灯)：すべてに送信可能
- (青色点滅)：送信中
- (黄色点滅)：1台以上が通信不可能
- (赤色点灯)：すべて通信不可能
- (黒色点灯)：プロジェクターが選択されていないとき

いろいろな投写方法 (つづき)

フルランチャー



■ 投写モード選択ボタン

- ② ライブモード： パソコンの画面を、投写画面全体に表示します。
(→ 25 ページ)
- ③ マルチライブモード： 複数台のパソコンの画面を、分割された投写画面に表示します。16 画面インデックススタイルの時は、 が  になります。(→ 26 ページ)

■ 機能ボタン

- ④ エリア指定送信機能： パソコンで表示されている画面のうち、必要な情報のみをウィンドウで指定し、投写画面に表示することができます。(→ 35 ページ)
- ⑤ セカンダリーディスプレイ送信機能： パソコン画面とプロジェクター画面をマルチモニターに設定し、パソコン画面をプライマリーモニター、プロジェクター画面をセカンダリーモニターとして使用します。(→ 36 ページ)
- ⑥ ワンショット機能： クリックした時点での画面を静止画として投写します。(→ 37 ページ)
- ⑦ 動画送信モード： 投写画面に動画を全画面で投写します。(→ 38 ページ)
- ⑧ シャッター機能： プロジェクター画面を一時的に消します。(→ 40 ページ)
- ⑨ WEB 制御： パソコンの WEB ブラウザを使用して、プロジェクターをコントロールすることができます。(→ 53 ページ)
- ⑩ 接続先の選択： 「接続先の選択」画面が表示されます。(→ 13 ページ)
- ⑪ オプション： 「オプション」画面が表示されます。(→ 42 ページ)
- ⑫ ポインター機能： 投写画面のポインターの形状を切り換えます。(→ 40 ページ)

いろいろな投写方法 (つづき)

ライブモード

1 台のプロジェクターに 1 台のパソコンを接続し、投写画面全体に表示します。

1 リモコンの [MULTI-LIVE SELECT] ボタンで、投写画面を全体表示 (インデックスが表示されていない状態) にする

投写画面にインデックスが表示されている場合は、リモコンの [MULTI-LIVE SELECT] ボタンを 1 ~ 2 回押すと、全体表示に切り替わります。

2 ランチャーのステータス表示で送信可能 (緑色点灯) であることを確認する

3 ランチャーの をクリックする

現在のパソコン画面が選択されているプロジェクターに送信されます。ライブモードは 1 台のパソコンでプロジェクターを占有しますので、他のパソコンからは操作できません。

ランチャーの  をクリックすると、「オプション」画面で画質や投写のオプション機能を設定することができます。

お知らせ

- ライブモードでのプレゼンテーションは、リモコンの [PAGE ▲▼] ボタンがパソコンの Page Up/Page Down キーと同等の動きをします。(PowerPoint の「発表者モード」の時のみ Back Space キーと Space キーに対応) Page Up/Page Down キーをサポートしているパソコンのアプリケーションが動作していればリモコンでプレゼンテーションの画面変更を行うことが可能となります。
- 「オプション」画面で [高画質] を選択している場合、動画再生が遅くなります。
- 一部のアプリケーションで映像の一部がプロジェクターから投写されない場合があります (MS Office のアシスタント、IME バー、マウスカーソルのアニメーションや軌跡など)。
- 投写中に通信異常が発生した場合、「ライブが解除されました」というメッセージが表示されますので、ランチャーから再度ライブを開始してください。

■ライブモードを終了するには

再度ランチャーの  をクリックしてください。

いろいろな投写方法 (つづき)

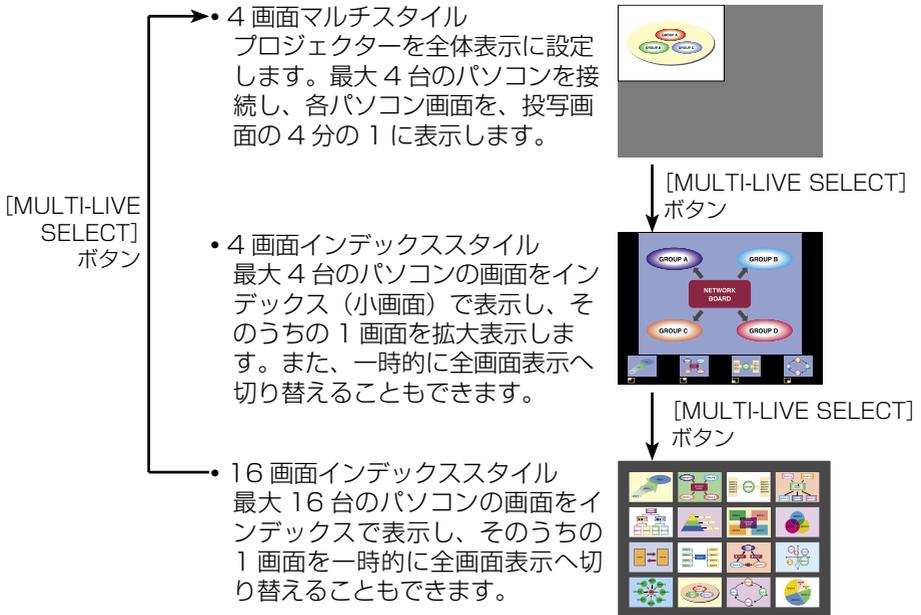
マルチライブモード

スタイルを切り替える

マルチライブモードには、「4画面マルチスタイル」、「4画面インデックススタイル」、「16画面インデックススタイル」の3つの投写スタイルがあります。スタイルの切り替えはプロジェクター側で操作してください。

■ スタイルを切り替える操作

リモコンの[MULTI-LIVE SELECT] ボタンを押すか、またはプロジェクターメニューの[本体設定] → [詳細設定] → [インデックス ダブル] を選択して[ENTER] ボタンを押すと、スタイルが切り替わります。



お知らせ

- プロジェクター起動時は、プロジェクターの電源をオフにする前に使用していたスタイルが選択されます。
- ライブモードに移行するときは、4画面マルチスタイルを選択した上で、パソコンの **[Live]** をクリックしてください。ただし、2台目以降のパソコンの接続が解除されます。
- 16画面インデックススタイルで5台以上のパソコンを接続している場合、4画面マルチスタイルに切り替えると、5台目以降のパソコンの接続が解除されます。

いろいろな投写方法 (つづき)

4 画面マルチスタイル

1 台のプロジェクターに最大 4 台までのパソコンを接続し、プロジェクターの画面を 4 分割してパソコン 4 台分の画面を同時に表示します。

1 リモコンの [MULTI-LIVE SELECT] ボタンで、投写画面を全体表示 (インデックスが表示されていない状態) にする

投写画面にインデックスが表示されている場合は、リモコンの [MULTI-LIVE SELECT] ボタンを 1 ~ 2 回押すと、全体表示に切り替わります。

2 ランチャーのステータス表示で送信可能 (緑色点灯) であることを確認する

3 ランチャーの をクリックする

右の画面が表示されます。



4 投写させたい位置を選択してクリックする

4 分割した画面にパソコンの画像が送信されます。



■ 別の位置に切り替えるには

上記手順 4 で投写させたい別の位置を選択してクリックしてください。

■ 拡大表示するには

ランチャーの  をクリックすると、そのパソコンの画面が投写画面全体に表示されます。そのパソコンのランチャーで  をクリックし、元の投写位置を選択すると、元の画面に戻ります。

■ 4 画面マルチスタイルを終了するには

上記手順 4 でチェックの付いている位置を選択してクリックしてください。

お知らせ

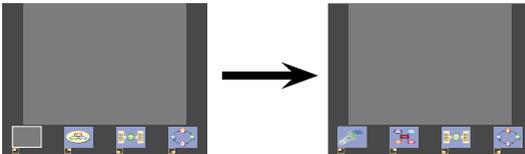
- 4 画面マルチスタイル中は、プロジェクターに接続しているすべてのパソコンからプロジェクターにパソコン画面を転送することができます。(すでに画像が表示されている画面位置に他のパソコンからの画像を送信した場合は、その画像に切り替わります。)
- 投写中に通信異常が発生した場合、「ライブが解除されました」というメッセージが表示されますので、ランチャーから再度ライブを開始してください。
- ランチャーの  をクリックすると、「オプション」画面で画質や投写のオプション機能を設定することができます。

いろいろな投写方法 (つづき)

4 画面インデックススタイル

プロジェクターが「4画面インデックススタイル」のときに、1台のプロジェクターに最大4台までのパソコンを接続し、インデックス画面と大画面で、パソコン4台分の画面を同時に表示します。

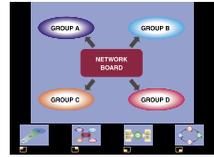
- 1 リモコンの【MULTI-LIVE SELECT】ボタンで、投写画面を「4画面インデックススタイル」に設定する
(→ 26 ページ)
- 2 ランチャーのステータス表示で送信可能（緑色点灯）であることを確認する
- 3 ランチャーの  をクリックする
右の画面が表示されます。
- 4 投写させたい位置を選択してクリックする
対応する小画面の領域に、パソコンの画像が送信されます。



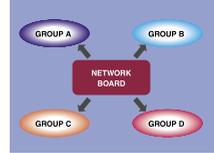
いろいろな投写方法 (つづき)

■ 拡大表示するには

- リモコンの [◀▶] ボタンで拡大したい画像にフォーカス (黄色の枠) を移動し、[ENTER] ボタンを押します。画面上部に画像が拡大して表示されます。



- さらに続けて [ENTER] ボタンを押すと、画面全体に画像が表示されます。
- 4画面インデックススタイルに戻りたい場合は、再度 [ENTER] ボタンを押してください。



お知らせ

- 拡大表示中は、リモコンの [PAGE ▲▼] ボタンがパソコンの Page Up/Page Down キーと同等の働きをします。(PowerPoint の「発表者モード」の時のみ Back Space キーと Space キーに対応) Page Up/Page Down キーをサポートしてるパソコンのアプリケーションが動作していればリモコンでプレゼンテーションの画面変更を行うことが可能となります。
- ランチャーの  をクリックすると、「オプション」画面で画質や投写のオプション機能を設定することができます。
- 投写中に通信異常が発生した場合、「ライブが解除されました」というメッセージが表示されますので、ランチャーから再度ライブを開始してください。

■ 4画面インデックススタイルを終了するには

前ページ手順 4 でチェックの付いている位置を選択してクリックしてください。



お知らせ

4画面インデックススタイル中は、ステータス表示は緑色点灯のまま変わりません。また、他のパソコンは未使用の小画面のみに送信することができます。

いろいろな投写方法 (つづき)

16 画面インデックススタイル

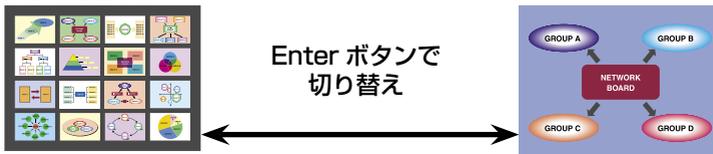
プロジェクターが「16 画面インデックススタイル」のときに、1 台のプロジェクターに最大 16 台のパソコンを接続し、インデックス画面と大画面で、パソコン 16 台分の画面を同時に表示します。

- 1 リモコンの [MULTI-LIVE SELECT] ボタンで、投写画面を「16 画面インデックス」に設定する (→ 26 ページ)
- 2 ランチャーのステータス表示で送信可能 (緑色点灯) であることを確認する
- 3 ランチャーの **[16]** をクリックする

16 画面の空いている小画面に自動的にパソコンの画像が送信されます。表示する位置を選択することはできません。

■ 拡大表示するには

- リモコンの [◀▶▲▼] ボタンで拡大したい画像にフォーカス (黄色の枠) を移動し、[ENTER] ボタンを押すと、画面全体に選択した画像が拡大表示されます。
- 16 画面インデックススタイルに戻りたい場合は、再度 [ENTER] ボタンを押してください。



お知らせ

- 拡大表示中は、リモコンの [PAGE ▲▼] ボタンがパソコンの Page Up/Page Down キーと同等の働きをします。(PowerPoint の「発表者モード」の時のみ Back Space キーと Space キーに対応) Page Up/Page Down キーをサポートしているパソコンのアプリケーションが動作していればリモコンでプレゼンテーションの画面変更を行うことが可能となります。
- ランチャーの **[16]** をクリックすると、「オプション」画面で画質や投写のオプション機能を設定することができます。
- 投写中に通信異常が発生した場合、「ライブが解除されました」というメッセージが表示されますので、ランチャーから再度ライブを開始してください。

■ 16 画面インデックススタイルを終了するには

再度ランチャーの **[16]** をクリックしてください。

いろいろな投写方法 (つづき)

複数台ライブモード

1 台のパソコンの画面を最大 8 台までのプロジェクターに表示することができます。

1 接続するすべてのプロジェクターの投写画面を、リモコンの [MULTI-LIVE SELECT] ボタンで、全体表示 (インデックスが表示されていない状態) にする

投写画面にインデックスが表示されている場合は、リモコンの [MULTI-LIVE SELECT] ボタンを 1 ~ 2 回押すと、全体表示に切り替わります。

2 ランチャーの をクリックする

「接続先の選択」画面が表示されます。

3 [接続モード] で をクリックする



4 [ネットワーク] で、接続するプロジェクターと同じネットワーク番号を選択する

ネットワーク内の電源が入っているプロジェクターが表示されます。

5 送信したいプロジェクターをすべて選択し、[OK] をクリックする

選択されたプロジェクターはピンク色で表示されます。

もう一度クリックすると、選択は解除されます。

[OK] をクリックすると、接続が確立されます。



いろいろな投写方法 (つづき)

6 ランチャーのステータス表示で送信可能（緑色点灯）であることを確認する

7 ランチャーの  をクリックする

手順 5 で選択したプロジェクターから映像が投写されます。

お知らせ

- 選択できるプロジェクターは、ネットワーク番号が同じプロジェクターのみです。
- 選択したプロジェクターの中に、他のパソコンが送信中のプロジェクターや、投写画面設定が全体表示になっていないプロジェクターがある場合、それ以外のプロジェクターに投写されます。
- プロジェクター数が増えると、画像転送が遅くなります。
- ランチャーの  をクリックすると、「オプション」画面で画質や投写のオプション機能を設定することができます。
- 複数台ライブモード時は、音声の出力はできません。
- 投写中に通信異常が発生した場合、「ライブが解除されました」というメッセージが表示されますので、ランチャーから再度ライブを開始してください。

■ 複数台ライブモードを終了するには

再度ランチャーの  をクリックしてください。

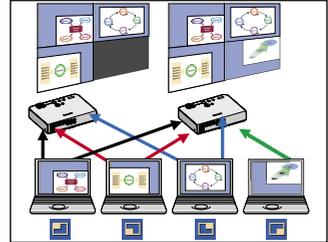
いろいろな投写方法 (つづき)

複数台マルチライブモード

最大 8 台までのプロジェクターにそれぞれ最大 4 台までのパソコンを接続し、各プロジェクターで 4 画面マルチスタイルで表示します。

1 リモコンの [MULTI-LIVE SELECT] ボタンで、投写画面を全体表示 (インデックスが表示されていない状態) にする

投写画面にインデックスが表示されている場合は、リモコンの [MULTI-LIVE SELECT] ボタンを 1 ~ 2 回押すと、全体表示に切り替わります。



2 ランチャーの [] をクリックする

「接続先の選択」画面が表示されます。

3 [接続モード] で [] をクリックする



4 [ネットワーク] で、接続するプロジェクターと同じネットワーク番号を選択する

ネットワーク内の電源が入っているプロジェクターが表示されます。

5 送信したいプロジェクターをすべて選択し [OK] をクリックする

選択されたプロジェクターはピンク色で表示されます。
もう一度クリックすると、選択は解除されます。
[OK] をクリックすると、接続が確立されます。



6 ランチャーのステータス表示が送信可能 (緑色点灯) であることを確認する

いろいろな投写方法 (つづき)

7 ランチャーの をクリックする

右の画面が表示されます。



8 投写させたい位置を選択してクリックする

4分割した画面にパソコンの画像が送信されます。

■ 別の位置に切り替えるには

上記手順 8 で投写させたい別の位置を選択してクリックしてください。

■ 拡大表示するには

ランチャーの  をクリックすると、接続しているすべてのプロジェクターでそのパソコンの画面が投写画面全体に表示されます。そのパソコンのランチャーで  をクリックし、元の投写位置を選択すると、元の画面に戻ります。

■ セカンダリービューアー機能

セカンダリーディスプレイ送信機能を使用しているときに、自分以外のパソコンが拡大表示にした場合、自分の画面は投写画面から見えなくなりますが、パソコン上のセカンダリービューアーに表示されます。(→ 36 ~ 37 ページ)

■ 複数台マルチライブモードを終了するには

上記手順 8 でチェックの付いている位置を選択してクリックしてください。

お知らせ

- 選択できるプロジェクターは、ネットワーク番号が同じプロジェクターのみです。
- 選択したプロジェクターの中に、LB10NT/20NT/30NT が含まれている場合、または、投写画面の設定が全体表示になっていないプロジェクターが含まれている場合は、ランチャーの  はグレーで表示され、選択することができません。
- 接続するプロジェクター数が増えると、画像転送は遅くなります。
- 複数台マルチライブモード中は、プロジェクターのリモコンの [MULTI-LIVE SELECT] ボタンを押したり、プロジェクターのメインメニューの [本体設定] → [詳細設定] → [インデックス ダブル] を選択して [Enter] を押しても、動作しません。
- ランチャーの  をクリックすると、「オプション」画面で画質や投写のオプション機能を設定することができます。
- 投写中に通信異常が発生した場合、「ライブが解除されました」というメッセージが表示されますので、ランチャーから再度ライブを開始してください。

便利な機能

エリア指定送信機能

パソコンで表示されている画面のうち、必要な情報のみをエリア指定ウィンドウで指定し、投写画面に表示することができます。

1 ランチャーの をクリックする

パソコン画面上に、エリア指定ウィンドウが緑色で表示されます。



2 プロジェクターに送信したい部分をエリア指定ウィンドウで囲む

通常のウィンドウの移動・サイズ変更の手順でエリア指定ウィンドウを操作できます。

-  をクリックすると、自動的にエリア指定ウィンドウ内のウィンドウを囲みます。
-  をクリックすると、エリア指定ウィンドウがデフォルトのサイズに戻ります。
-  をクリックすると、エリア指定送信機能が終了します。

3 ランチャーのステータス表示が送信可能（緑色点灯）であることを確認する

4 ランチャーの 、、または をクリックする

エリア指定ウィンドウ内の画面が投写されます。

お知らせ

エリア指定ウィンドウ内の画像は、プロジェクターの画面解像度に収まるように、元の画像のアスペクト比のまま、できるだけ大きなサイズで投写されます。

■ エリア指定送信機能を終了するには

再度ランチャーの  をクリックするか、エリア指定ウィンドウの右上の  をクリックしてください。

便利な機能 (つづき)

セカンダリーディスプレイ送信機能

パソコン画面とプロジェクター画面をマルチモニターに設定し、パソコン画面をプライマリーモニター、プロジェクター画面をセカンダリーモニターとして使用します。

1 ランチャーの  をクリックする

2 ランチャーのステータス表示が送信可能（緑色点灯）であることを確認する

3 ランチャーの  または  をクリックする

パソコンのセカンダリー画面がプロジェクターに送信されます。

お知らせ

- 通常のマルチモニター機能と同様に、[画面のプロパティ]（パソコン画面のデスクトップを右クリック）を使って、プライマリーモニター（パソコン画面）とセカンダリーモニター（プロジェクター画面）との位置関係を変更することができます。
- セカンダリーモニターには、エリア指定送信（→ 35 ページ）はできません。
- ワンショット機能はセカンダリーディスプレイ送信機能実行中は動作しません。
- マルチモニターに対応したパソコンの場合、セカンダリーディスプレイ送信機能用のモニターは Windows の「画面のプロパティ」では 3 番目のモニターとして表示されます。

■ セカンダリーディスプレイ送信機能を終了するには

再度ランチャーの  をクリックしてください。

便利な機能 (つづき)

セカンダリービューアー

複数台マルチライブモードで、セカンダリーディスプレイ送信機能によりプロジェクターにセカンダリーモニター画面を表示させているときに、どれかのパソコンでランチャーの **[Live]** がクリックされて一時的に投写画面全体にそのパソコン画面が表示されると、その他のパソコンのセカンダリー画面の内容が確認できなくなってしまいます。

その場合、セカンダリービューアーが各パソコン画面上に開き、セカンダリーモニター画面を縮小表示します。また、4画面インデックススタイル、16画面インデックススタイルで、セカンダリーディスプレイ送信機能を使用している場合も、セカンダリービューアーが表示されます。



お知らせ

- パソコン画面上のセカンダリービューアーを見ながらセカンダリーモニターを操作することができますが、投写画面が戻るまでは投写画面には表示されません。
- 投写画面が元に戻ると、セカンダリーモニターの内容が投写画面に表示され、セカンダリービューアーも終了します。

ワンショット機能

クリックした時点での画面を静止画として投写します。

1 すべてのライブを解除する

2 リモコンの **[MULTI-LIVE SELECT]** ボタンで、投写画面を全体表示（インデックスが表示されていない状態）にする

投写画面にインデックスが表示されている場合は、リモコンの **[MULTI-LIVE SELECT]** ボタンを1～2回押すと、全体表示に切り替わります。

3 ランチャーのステータス表示で送信可能（緑色点灯）であることを確認する

4 ランチャーの **[1↑]** をクリックする

お知らせ

パソコンに表示されている画面のうち、必要な部分のみを静止画で投写したい場合は、エリア指定送信機能で指定した部分をワンショット機能で送信することができます。

便利な機能 (つづき)

動画送信モード

投写画面に動画を送信します。Windows Media Player の画面をプロジェクターに表示する場合などに比べ、効率よく動画画面を表示させることができます。

1 すべてのライブを解除する

2 リモコンの [MULTI-LIVE SELECT] ボタンで、投写画面を全体表示（インデックスが表示されていない状態）にする

投写画面にインデックスが表示されている場合は、リモコンの [MULTI-LIVE SELECT] ボタンを 1 ～ 2 回押すと、全体表示に切り替わります。

3 ランチャーのステータス表示で送信可能（緑色点灯）であることを確認する

4 ランチャーの  をクリックする

「動画送信ファイル選択」画面が表示されます。



プロジェクターから動画が投写されます。ただし、パソコン画面に動画は表示されません。

便利な機能 (つづき)

5 動画ファイルを選択し、 をクリックする

投写画面に動画が全画面で表示されます。

必要に応じて「動画送信ファイル選択」画面で音量などの設定を行ってください。

お知らせ

- 使用中のプロジェクターとワイヤレス接続されている他のパソコンが送信中のときは使用できません。
- 再生可能な動画フォーマットは、Windows Media Player で再生可能なフォーマット (asf、wmv、avi、mpeg 等) です。ただし、DRM* 設定されているコンテンツの投写や DVD/MPEG2 の投写はできません。
 - ※ DRM (Digital Rights Management): デジタルデータの著作権保護技術
- 動作環境によって動画がコマ落ちしたり、音声途切れたりする場合があります。
- 動画再生画面はパソコン画面には表示されません。

便利な機能 (つづき)

シャッター機能

プロジェクター画面を一時的に消します。

1 ランチャーの をクリックする

プロジェクター画面が一時的に消えます。
音声を出力している場合、音声も聞こえなくなります。

2 再度ランチャーの をクリックする

プロジェクター画面が再度表示されます。

お知らせ

シャッター機能はライブモードと複数台ライブモード時のみ動作します。

ポインター機能

ライブモード、複数台ライブモード時、プロジェクター投写画面に表示するポインターの形状をプレゼンテーション用に変更することができます。

ランチャーの をクリックする

■ ポインター機能を終了するには

再度ランチャーの  をクリックしてください。

各投写方法で使える機能一覧

【LB50NT/LB55NT/LB60NT の場合】			エリア 指定送信	セカンダリー ディスプレイ送信	シャッター	ポインター	備考
1台 接続の 場合 	ライブモード		○	○	○	○	
	マルチライブモード		○	○	×	×	
	ワンショット		○	×	×	×	※
	動画送信		×	×	×	×	※
複数台 接続の 場合 	複数台ライブモード		○	○	○	○	
	複数台マルチライブモード		○	○	×	×	
	ワンショット		○	×	×	×	※
	動画送信		—	—	—	—	不可

便利な機能 (つづき)

【LB20NT/LB30NT の場合】			エリア 指定送信 	セカンダリー ディスプレイ送信 	シャッター 	ポインター 	備考
1台 接続の 場合 	ライブモード 		×	○	○	○	
	マルチライブモード 		×	○	×	×	
	ワンショット 		×	×	×	×	※
	動画送信 		×	×	×	×	※
複数台 接続の 場合 	複数台ライブモード 		×	○	○	○	
	複数台マルチライブモード 		—	—	—	—	不 _可
	ワンショット 		×	×	×	×	※
	動画送信 		—	—	—	—	不 _可

【LB10NT の場合】			エリア 指定送信 	セカンダリー ディスプレイ送信 	シャッター 	ポインター 	備考
1台 接続の 場合 	ライブモード 		×	○	○	○	
	マルチライブモード 		×	○	×	×	
	ワンショット 		×	×	×	×	※
	動画送信 		—	—	—	—	不 _可
複数台 接続の 場合 	複数台ライブモード 		×	○	○	○	
	複数台マルチライブモード 		—	—	—	—	不 _可
	ワンショット 		×	×	×	×	※
	動画送信 		—	—	—	—	不 _可

※ワンショットと動画送信は、すべてのライブが解除された状態で使用できます。
すべてのライブを解除した状態で、プロジェクターの投写画面が全画面表示（分割されていない状態）のときに、ランチャーから操作してください。

- ライブモードのときのみ、パソコンの音声をプロジェクターから出力することができます。（→ 43 ページ）

オプションを設定する

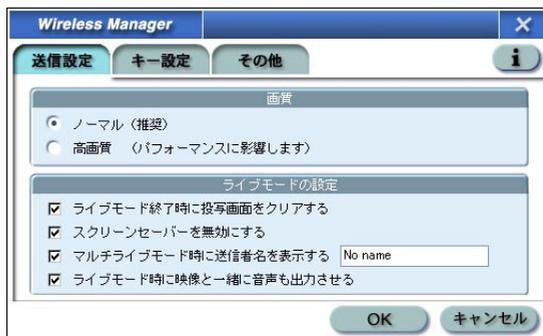
Wireless Manager ME 3.0 使用時の投写画面の設定を行います。

オプション画面の設定

1 ランチャーの [O] をクリック する

右の「オプション」画面
が表示されます。

2 変更したい設定の タブを選択し、詳 細を設定する



3 [OK] をクリックする

送信設定

■ 画質の選択

パソコンからプロジェクターに送信する画質を選択します。

お知らせ

[高画質] を選択した場合、以下の制限があります。

- 動画送信時は、ノーマルモードで動作します。
- ライブモードで動画を再生している場合、動画がスムーズに投写されないことがあります。

■ ライブモードの設定

- [ライブモード終了時に投写画面をクリアする]
ライブモード終了時にプロジェクターからの投写画面をクリアしたいときに設定します。
- [スクリーンセーバーを無効にする]
Wireless Manager ME 3.0 起動中はパソコンのスクリーンセーバー機能を無効にします。ライブモード中にスクリーンセーバーを動作させたくないときに設定します。

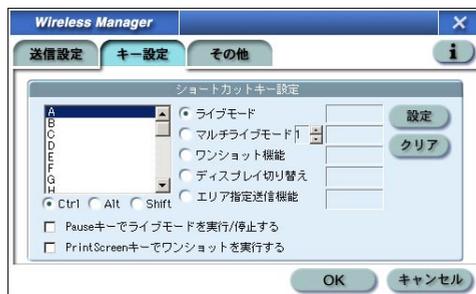
オプションを設定する (つづき)

- [マルチライブモード時に送信者名を表示する]
送信している画面の右上に、指定した文字列 (英数半角最大 8 文字) が表示されます。4 画面及び 16 画面インデックススタイル時は、小画面の下側にも表示されます。(チェックを外している場合は、表示されません。) デフォルトの文字列は [No name] です。
- [ライブモード時に映像と一緒に音声も出力させる]
ライブモード時にパソコンの音声をプロジェクターから出力したいときに設定します。ただし動画送信の音声は、動画送信用画面での音量調整が優先されます。(→ 38 ページ)
また、ランチャーおよび動画送信画面での音量設定は、Windows の音量設定とは別のワイヤレス接続専用の音量設定となります。Wireless Manager ME 3.0 を終了すると、元の Windows の音量設定に戻ります。
ライブモードの時のみ、パソコンの音声をプロジェクターから出力することができます。

キー設定

パソコンのキーボード操作で Wireless Manager ME 3.0 の機能を制御するための設定をします。

- 1 ショートカットキーを設定するモードまたは機能を選択し、クリックする
- 2 [Ctrl]、[Alt]、[Shift] の中から 1 つ選びクリックする
- 3 手順 2 で設定したキーと組み合わせるアルファベットを、上のアルファベット欄から選び、クリックする
- 4 [設定] をクリックする
手順 2、3 で設定した組み合わせが、空欄に表示されます。
設定を変更する場合は [クリア] をクリックしてください。



- [Pause キーでライブモードを実行/停止する] : ライブモード/マルチライブモードを停止します。
- [PrintScreen キーでワンショットを実行する] : パソコンの全画面を送信します。

お知らせ

ライブモード/マルチライブモードのショートカットキーは、ライブを停止せずにモードを切り替えます。

オプションを設定する (つづき)

その他

■ ランチャーサイズ設定

ランチャーボタンの表示サイズを選択します。

■ 自動接続設定

パソコンから自動的に接続するプロジェクターを設定します。



- [自動接続を行う] をチェックすると、Wireless Manager ME 3.0 起動時に「接続先の選択」画面は表示されず、自動接続先に登録されているプロジェクターが起動されていれば自動的に接続します。
- [設定] をクリックすると、「接続履歴」画面が表示され、自動接続するプロジェクターを選択できます。「接続履歴」画面には、最大 5 台まで、履歴の新しいプロジェクター順に表示されます。
- 表示からプロジェクターを削除する場合、削除したいプロジェクターを選択し、[削除] → [OK] をクリックしてください。



バージョン情報

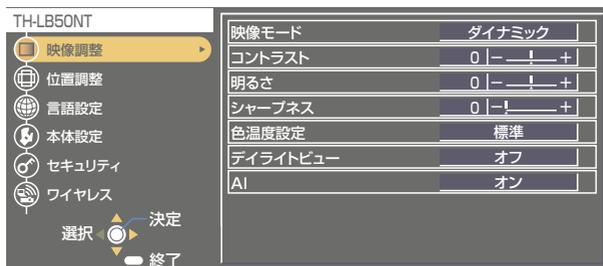
「オプション」画面の [] をクリックすると、Wireless Manager ME 3.0 のバージョン情報が表示されます。

プロジェクターのネットワーク設定

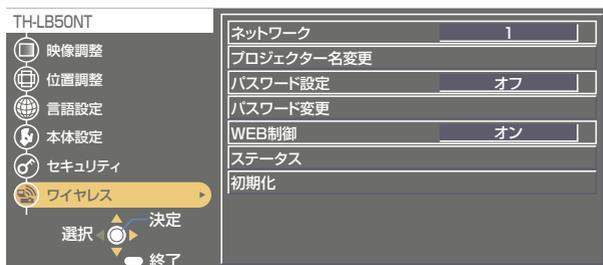
お買い上げ時の設定を変更してプロジェクターとパソコンをワイヤレス接続する場合、初期設定変更時に必要なワイヤレスメニューは次の手順で表示してください。

ワイヤレスメニューの表示

- 1 プロジェクターの [MENU] ボタンを押す
メインメニューが表示されます。



- 2 [▲▼] ボタンで [ワイヤレス] を選択する
ワイヤレスメニューが表示されます。



お知らせ

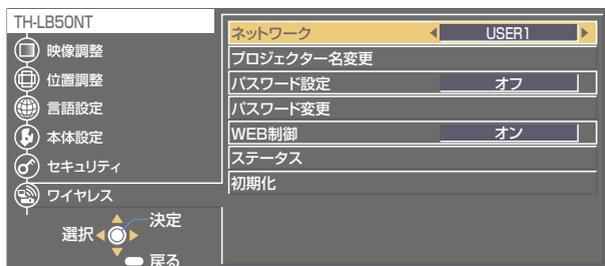
プロジェクターには入力される信号によっては、調整できない項目や使用できない機能があります。

調整または使用できない状態のときは、メニューの項目は表示されず、[決定] ボタンを押しても実行できません。

プロジェクターのネットワーク設定 (つづき)

ネットワーク番号を変更する

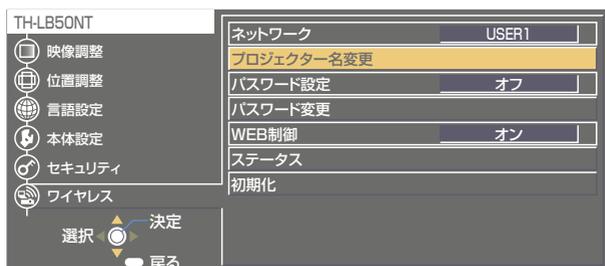
- 1 ワイヤレスメニューで [ネットワーク] を選択する
- 2 [◀▶] ボタンで接続する番号を選択する



プロジェクター名を変更する

ネットワーク上でのプロジェクターの名前を変更することができます。「接続先の選択」画面で見わけがつきやすくなります。

- 1 ワイヤレスメニューで [プロジェクター名変更] を選択し、[決定] ボタンを押す



- 2 [◀▶▲▼] ボタンでプロジェクター名を入力する

- 3 プロジェクター名入力後 [確定] を選択して [決定] ボタンを押す

変更をキャンセルする場合は、[キャンセル] → [決定] を押してください。

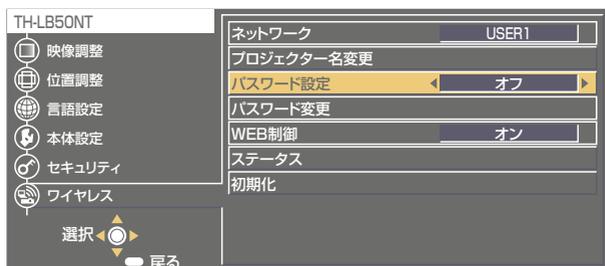


プロジェクターのネットワーク設定 (つづき)

パスワードの設定

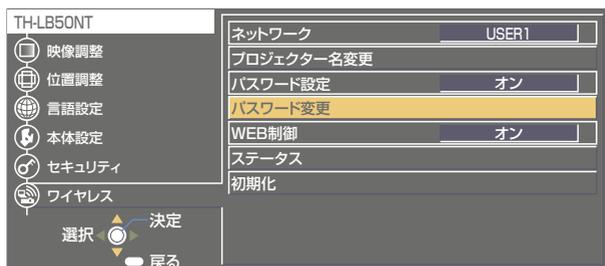
プロジェクターに接続するためのパスワードを設定し、ユーザーに制限を加える場合に使用します。

1 ワイヤレスメニューで [パスワード設定] を選択する



2 [◀▶] ボタンで、[オン] を選択する

3 ワイヤレスメニューで [パスワード変更] を選択し、[決定] ボタンを押す



4 [◀▶▲▼] ボタンでパスワードを入力する

5 パスワード入力後 [確定] を選択して [決定] ボタンを押す

変更をキャンセルする場合は、[キャンセル] → [決定] を押してください。

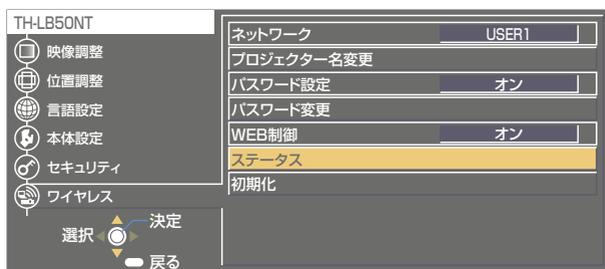


プロジェクターのネットワーク設定 (つづき)

設定状態の確認

ワイヤレスメニューで [ステータス] を選択し、[決定] ボタンを押す

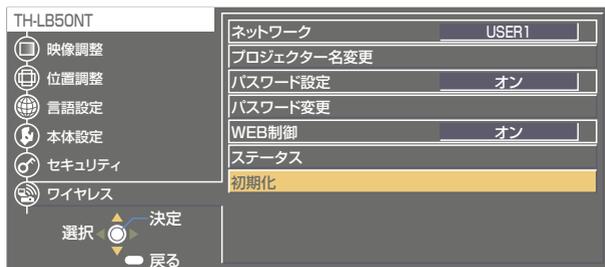
現在の設定状態が表示されます。



初期設定に戻す

変更した設定を初期化することができます。

1 ワイヤレスメニューで [初期化] を選択し、[決定] ボタンを押す



お知らせ

セキュリティメニューで [パスワード設定] が [オン] になっているときは、パスワードが要求されます。

2 [◀▶] ボタンで [はい] を選択し、[決定] ボタンを押す



プロジェクターのネットワーク設定 (つづき)

[USER] 設定

ワイヤレスメニューの[ネットワーク]で[USER1]～[USER3]を選択した場合には、詳細なネットワーク設定ができます。ネットワーク設定に関しては、ネットワーク管理者にご確認ください。

IP アドレス設定

■ IP アドレス設定画面の表示方法

ワイヤレスメニューで、[ネットワーク] → [USER1] ～ [USER3] → [決定] をクリックする



DHCP* :

- ON : プロジェクターを接続するネットワークに DHCP サーバーが存在する場合、自動的に IP アドレスを取得します。
- OFF : プロジェクターを接続するネットワークに DHCP サーバーが存在しない場合、さらに [IP アドレス*] [サブネットマスク*] [ゲートウェイ*] の設定を行ってください。

※ 「用語解説」 → 61 ページ

プロジェクターのネットワーク設定 (つづき)

ワイヤレス設定

IP アドレス設定画面の [次へ] を選択すると、ワイヤレス設定画面に変わります。プロジェクターとネットワーク間のワイヤレス LAN 接続に関する設定を行います。

詳細設定

USER1	2 / 3
SSID	Panasonic Projector
モード	AD HOC
認証	オープン
暗号化	無し

選択  決定

キャンセル

戻る 次へ キャンセル

- モード : [AD HOC] か [INFRASTRUCTURE] かを選択します。
 - AD HOC * : アクセスポイントを使わず直接パソコンと接続する
 - INFRASTRUCTURE * : アクセスポイント経由で接続する
- SSID * : モードが [INFRASTRUCTURE] の場合、アクセスポイントに登録されている SSID を入力してください。モードが [AD HOC] の場合、接続するパソコンに登録している SSID と同じ文字列を入力してください。

お知らせ

SSID は、半角英数で入力してください。

- 認証 : 接続するネットワークで使用されているユーザー認証方式を設定
 - オープン : [AD HOC] で接続する場合、もしくはアクセスポイントの認証方式が OpenSystem * の場合に選択
 - 共有 : [AD HOC] で接続する場合、もしくはアクセスポイントの認証方式が Shared Key * の場合選択
 - WPA-PSK * : アクセスポイントの認証方式が WPA-PSK の場合に選択

※ 「用語解説」 → 62 ページ

プロジェクターのネットワーク設定 (つづき)

- 暗号化：プロジェクターとネットワークの間の通信で使用される暗号化方式を選択します。
 - 無し：暗号化しない場合に選択。[認証] が [オープン] もしくは [共有] の場合に選択できます。
 - WEP*：暗号化方式に WEP を使用する場合に選択。
 - TKIP*：暗号化方式に TKIP を使用する場合に選択。
[認証] が [WPA-PSK] の場合に選択できます。
 - AES*：暗号化方式に AES を使用する場合に選択。
[認証] が [WPA-PSK] の場合に選択できます。

なお、[認証] の設定により、さらに以下の設定を行います。



- 認証方法が [オープン] または [共有] で、暗号化方式に [WEP] を設定している場合：
 - デフォルトキー：デフォルトのキーとして使用する番号を選択
 - キー 1 ~ 4：[デフォルトキー] で選択したキー番号に WEP キーを設定して [確定] で実行
 - 設定できるのは、64bit もしくは 128bit の WEP キーです。
 - 64bit の場合は半角英数字で 5 文字 (16 進数の場合は 10 桁)、
 - 128bit の場合は、半角英数字で 13 文字 (16 進数の場合は、26 桁) を入力します。
- 認証方法が WPA-PSK の場合：キーを設定し [確定] で実行
 - 8 ~ 63 文字の英数字か、もしくは 64 桁の 16 進数で入力します。

※ 「用語解説」 → 62 ページ

お知らせ

映像 / 音声データは、[暗号化] を [無し] に設定した場合でも、あらかじめ全ネットワーク番号において AES*暗号処理が施されていますので重要なデータは保護されます。

※ 「用語解説」 → 62 ページ

プロジェクターのネットワーク設定 (つづき)

[USER1] ~ [USER3] の工場出荷設定

工場出荷時、ワイヤレスメニューの [USER1] ~ [USER3] にはあらかじめ下記の設定がされています。

SSID	: Panasonic Projector
DHCP	: オフ
IP アドレス	: 192.168.10.100
サブネットマスク	: 255.255.255.0
ゲートウェイ	: 192.168.10.1
モード	: AD HOC
認証	: オープン
暗号化	: 無し

WEB ブラウザで操作する

パソコンのWEB ブラウザを使用して、プロジェクターをコントロールすることができます。このことを「WEB 制御」といいます。

(ここでは Microsoft 社 Internet Explorer を例に説明しています。)

WEB 制御を行う前に

- プロジェクターとパソコンを接続してください。(→ 14 ページ)
- WEB ブラウザでプロキシサーバーの設定を解除してください。(→ 次ページ)
- JavaScript を有効にしてください。(→ 55 ページ)

① プロジェクターの設定

ワイヤレスメニューの [WEB 制御] を [オン] にします。

1 ワイヤレスメニューで [WEB 制御] を選択する

2 [◀▶] ボタンで [オン] または [オフ] を選択する

オン：WEB ブラウザでの制御を可能にします。

オフ：WEB ブラウザでの制御をできなくします。



お知らせ

- WEB ブラウザでプロジェクターの設定を変更した場合は、プロジェクターのネットワークを [USER1] ~ [USER3] に切り替えるまで有効にはなりません。
- [USER1] ~ [USER3] に切り替えたあとは、ご使用の WEB ブラウザのプロキシ設定を手動で解除してください。

WEB ブラウザで操作する (つづき)

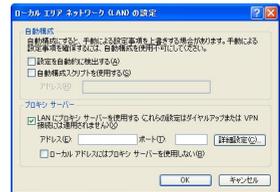
②パソコンの設定

■ プロキシサーバーの設定

WEB ブラウザでプロキシサーバーを設定している場合には、設定を解除してください。

1 [インターネットのプロパティ] ウィンドウを表示させる
[スタート] → [コントロールパネル] → [ネットワークとインターネット接続]
→ [インターネットオプション] をクリック

2 [接続] タブ [LAN の設定] をクリックする



3 [LAN にプロキシサーバーを使用する] にチェックがあれば削除する
[自動構成スクリプトを使用する] にチェックがあれば削除する

4 [OK] をクリックする

WEB ブラウザで操作する (つづき)

■ JavaScript を有効にする

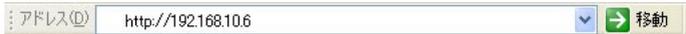
JavaScript を無効にしている場合は、JavaScript を有効にしてください。

- 1 **【インターネットのプロパティ】 ウィンドウを表示させる**
[スタート] → [コントロールパネル] → [ネットワークとインターネット接続]
→ [インターネットオプション] をクリック
- 2 **インターネットのプロパティの【セキュリティ】で、セキュリティのレベルを【即定のレベル】にするか、または【レベルのカスタマイズ】から【アクティブスクリプト】を有効にする**

WEB ブラウザで操作する (つづき)

WEB ブラウザからアクセスする

- 1 ランチャーの  をクリックする
または WEB ブラウザを起動させ、プロジェクターで設定した IP アドレスを入力する
Web ブラウザが起動し、「Projector control window」のトップページが表示されます。



<トップ画面>



- 2 表示する言語を選択し、WEB 制御用のパスワードを設定している場合はパスワードを入力する
- 3 [ENTER] をクリックする
「基本制御画面」が表示されます。(→次ページ)

お知らせ

- このページで使用するパスワードは WEB 制御画面にアクセスするパスワードです。(→ 58 ページ) 47 ページで設定した、プロジェクターに接続するためのパスワードとは異なります。
- パスワードを忘れてしまったときは、プロジェクターのワイヤレスメニューで [初期化] を実行し、WEB ブラウザの「パスワード変更」画面 (→ 58 ページ) で再度設定してください。
- WEB ブラウザによってはトップ画面が表示されない場合があります。再度 WEB ブラウザを起動するか、[CTRL] + [R] キーを押すなどして画面を更新してください。
- WEB ブラウザの設定がダイヤルアップになっている場合は、ダイヤルアップの設定を解除してください。
- WEB ブラウザの起動には時間がかかる場合があります。

WEB ブラウザで操作する (つづき)

プロジェクターコントロール画面

プロジェクターの各種設定を行うことができます。

他のページから移行するときは、[プロジェクターコントロール] → [基本制御]、または [オプション制御] をクリックしてください。

■ 基本制御画面



■ オプション制御画面



お知らせ

- 電源オン直後は、プロジェクターと接続できない場合があります。そのときは少し待ってから、再度接続してください。

WEB ブラウザで操作する (つづき)

モニター情報画面

現在のプロジェクターの状態を表示します。
[モニター情報] をクリックしてください。

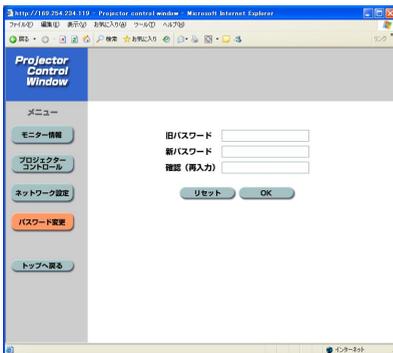


お知らせ

モニター情報は、一定の間隔で更新されますが、[表示] → [最新の情報に更新] を押すと、現在の正確な情報を確認することができます。

パスワード変更画面

「Projector control window」画面にアクセスする際のパスワードを設定します。
旧パスワードと新パスワードを入力し、[OK] をクリックしてください。
半角英数（大文字／小文字）、記号を 16 文字まで入力できます。



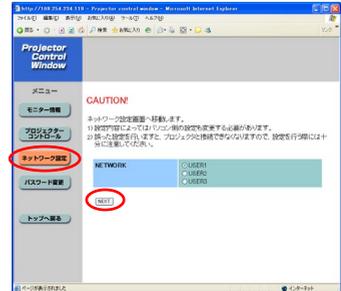
WEB ブラウザで操作する (つづき)

ネットワーク設定画面

[コンピュータの管理者 (Administrator)] の権限なしで接続する場合、アクセスポイント経由 (インフラストラクチャーモード) で接続する場合に、プロジェクターに関するネットワークの詳細設定を行うことができます。

1 メニューの [ネットワーク設定] → [NEXT] をクリックする

設定画面が表示されます。



2 詳細を設定する

ここでの設定は、プロジェクターのワイヤレスメニューで、ネットワーク番号に [USER1] ~ [USER3] を選択して設定する内容と同じです。(→ 49 ページ)



3 [NEXT] をクリックする

設定した内容が登録されます。

■ 登録された内容を有効にするには

プロジェクターのワイヤレスメニューで [ネットワーク] を選択し、[◀▶] ボタンでここで設定を登録したネットワークを選択して [決定] ボタンを押します。

お知らせ

- 映像/音声データは、[暗号化] を [無し] に設定した場合でも、あらかじめ全ネットワーク番号において AES*暗号処理が施されていますので重要なデータは保護されます。 ※「用語解説」→ 62 ページ

ソフトウェアのアンインストール

Wireless Manager ME 3.0

デスクトップから、[スタート] → [すべてのプログラム] → [Panasonic Wireless Display] → [Wireless Manager mobile edition 3.0 の削除] を選択する

画面の指示に従ってアンインストールしてください。

用語解説

項目	用語	説明	ページ
一般的な 接続の 設定	LAN	Local Area Network の略。会社内など比較的狭い範囲のネットワークのことです。	8
	アクセスポイント	ワイヤレス LAN でパソコンとネットワークを接続する電波中継機のことです。アクセスポイントに接続することで、アクセスポイントが接続されているネットワークにアクセスできるようになります。	6
	TCP/IP	Transmission Control Protocol / Internet Protocol の略。インターネットで使われる標準プロトコル。プロトコルとはパソコン同士がデータ通信する際の規約、約束事のことをいいます。	18
	IP アドレス	ネットワークでデータを配送する先にあたるアドレスのことです。IP (Internet Protocol) は、データを配送するためのプロトコルで、同一ネットワーク内で同じ IP アドレスを使用することはできません。	17/ 20/ 49
	DHCP	Dynamic Host Configuration Protocol の略。接続されている機器に自動的に IP アドレスを割り振る機能。DHCP サーバーの機能を持った機器が LAN 内にあれば接続されている機器に自動的に IP アドレスを割り振ります。	17/ 49
	サブネットマスク (Subnet Mask)	ネットワークでは、大きなネットワークをサブネットと呼ばれる複数の小さなネットワークに分割して管理する場合があります。その場合の IP アドレスを区切るための値のことをサブネットマスクといいます。	17/ 49
	ゲートウェイ (Gateway)	異種のネットワークを接続する中継点のことをいいます。使用しているネットワークの規格と異なったネットワークに接続する場合などに使われる機器のことで、双方のネットワーク間のプロトコルの違いなどを調整して、他のネットワークとの接続を可能にします。	49

用語解説 (つづき)

項目	用語	説明	ページ
高度な 接続の 設定	AD_HOC	アクセスポイントを介さずにパソコンどうしが直接通信を行なうモードのことです。	17/ 50
	INFRASTRUCTURE (インフラストラクチャーモード)	アクセスポイントを経由して接続するモードのことです。	19/ 50
	SSID	Service Set ID の略。無線を利用するワイヤレス LAN では、通信したいアクセスポイントであるかどうかを区別するために SSID と呼ばれる識別コードを設定する必要があります。 一部メーカーのワイヤレス LAN カードによっては、[ESSID] や [ネットワーク名] などと表示されている場合もあります。	17/ 50
	Open System (オープンシステム) ／オープン	公開鍵暗号を用いた無線認証方式のひとつです。	17/ 50
	Shared Key (共有キー) ／ 共有	秘密鍵暗号を用いた無線認証方式のひとつで、WEP に設定した暗号キーを使って認証を行う方式です。 暗号化と復号化に同じ鍵を用いる暗号方式で「共有鍵暗号」「共通鍵暗号」とも呼ばれています。	17/ 50
	WPA-PSK	無線 LAN の暗号化方式の規格。WEP 方式よりセキュリティ強度が高く、ユーザ認証機能や、暗号キーを一定時間毎に自動的に変更する TKIP (暗号化プロトコル) などの機能を備えています。	50
	WEP	Wired Equivalent Privacy の略。通信するデータを暗号化する方式です。暗号キーを作成して通信する相手だけに知らせることで、第三者に通信データを解読されないようにします。	17/ 51
	TKIP	Temporal Key Integrity Protocol の略。暗号キーを一定時間ごとに変更するため、WEP よりもセキュリティ強度が高い暗号化プロトコルです。	51
	AES	米国商務省標準技術局 (NIST) によって選定作業が行われている、米国政府の次世代標準暗号化方式です。	15/ 51/ 59

困ったとき

もう一度次の点をお調べください。

プロジェクターとパソコンがワイヤレス接続できない

- **Wireless Manager ME 3.0 を起動していますか。**
プロジェクターにワイヤレスで映像を送信するには、パソコン側で Wireless Manager ME 3.0 を起動する必要があります。

〈ワイヤレス LAN カードの設定エラーを検出したとき〉

- ① **ワイヤレス LAN カードは有効になっていますか。**
ワイヤレス LAN 内蔵タイプのパソコンの場合、パソコンによってはワイヤレス LAN の電源が「オフ」に設定されている場合があります。「オフ」になっている場合は、「オン」にしてから Wireless Manager ME 3.0 を起動してください。「オン」、「オフ」の切り替え方法についてはご使用のパソコンの取扱説明書をご覧ください。
- ② **ワイヤレス LAN カードは正しく認識されていますか。**
ご使用のワイヤレス LAN カードが正しく認識されていない場合があります。Windows の [デバイスマネージャ] で正しく認識されているか確認してください。
[デバイスマネージャ] の [ネットワークアダプタ] の欄に [?] マークが表示されている場合は、インストールが正常に終了していないことが考えられます。ご使用のワイヤレス LAN カードの取扱説明書を参照し再度ドライバーをインストールすることをお勧めします。
■ **【デバイスマネージャ】の表示方法**
[スタート] → [コントロールパネル] → [パフォーマンスとメンテナンス] → [システム] を選ぶと、[システムのプロパティ] ダイアログボックスが表示されます。[ハードウェア] タブをクリックして [デバイスマネージャ] をクリックしてください。
- ③ **ワイヤレス LAN カードのドライバーのアップデートを行うことで簡単接続が動作するようになる場合があります。**（ドライバーのアップデートに関しては、ご使用のワイヤレス LAN カードのメーカーにお問い合わせください。）

困ったとき (つづき)

プロジェクターとパソコンがワイヤレス接続できない (つづき)

〈ネットワークブリッジ設定を検出したとき〉

ネットワークブリッジが設定されていませんか。

Windows XP をご使用の場合、ネットワークブリッジが設定されている場合があります (ネットワークブリッジは、Windows XP の機能です)。

ネットワークブリッジが設定されていると、ワイヤレス接続ができません。ネットワークブリッジを使用することがなく、不要な場合は、ネットワークブリッジを削除してください。

■ネットワークブリッジの有無の確認方法

[スタート] メニューから [接続] を選択し、[すべての接続の表示] をクリックする。[ネットワーク接続] ダイアログボックスに [ネットワークブリッジ] が表示されていることを確認する。

■ネットワークブリッジの設定の変更方法

1. [スタート] メニューから [接続] を選択して [すべての接続の表示] をクリックする
2. [ネットワークブリッジ] を右クリックし [プロパティ] をクリックする
3. [ネットワークブリッジのプロパティ] ダイアログボックスで [ワイヤレスネットワーク接続] のチェックを外す (チェックが入っていない場合は手順 4 に進んでください。)
4. [ネットワークブリッジのプロパティ] ダイアログボックスで [インターネットプロトコル (TCP/IP)] の [プロパティ] をクリックする
5. [インターネットプロトコル (TCP/IP) のプロパティ] ダイアログボックスの [代替の構成] タブをクリックする
6. [ユーザー構成] をチェックして [IP アドレス]、[サブネットマスク] を以下のように設定する
IP アドレス : 10. 10. 10. 101
サブネットマスク : 255. 255. 0. 0
(上記 IP アドレスを LAN 環境で使用中の場合は、クラス A 内で適宜設定ください。詳細はネットワーク管理者にご確認ください。)
7. [OK] → [閉じる] をクリックする
8. [ネットワーク接続] ダイアログボックスを終了する

■ネットワークブリッジの削除方法

1. [スタート] メニューから [接続] を選択し、[すべての接続の表示] をクリックする
2. [ネットワークブリッジ] を右クリックし、[削除] をクリックする

困ったとき (つづき)

プロジェクターとパソコンがワイヤレス接続できない (つづき)

〈Windows Firewall を検出したとき〉

① Windows XP のファイアウォールは無効になっていますか。

ワイヤレス接続するためには、Windows XP のファイアウォールは無効になっている必要があります。

■ Windows XP のファイアウォールを無効にする方法

1. [スタート] → [コントロールパネル] → [ネットワークとインターネット接続] → [ネットワーク接続] の順にクリックする
2. [ワイヤレスネットワーク接続] を右クリックし、メニューから [プロパティ] をクリックする
3. [詳細設定] タブの [インターネット接続ファイアウォール] のチェックボックスをオフにする

② Windows XP SP2 の [コントロールパネル] → [セキュリティセンター] → [Windows ファイアウォール] → [例外] タブに、本ソフトが登録されていますか。

ファイアウォールの例外アプリケーションリストに Wireless Manager ME 3.0 を登録してください。

■登録方法

1. [スタート] → [コントロールパネル] をクリックする
2. [コントロールパネル] 画面が表示されたら [セキュリティセンター] → [Windows ファイアウォール] をクリックする
3. [Windows ファイアウォール] 画面が表示されたら、[例外] タブ → [プログラムの追加] を順にクリックする
4. [プログラムの追加] 画面が表示されたら、[Wireless Manager mobile edition 3.0 (WM.exe)] をクリックする
[Wireless Manager mobile edition 3.0 (WM.exe)] が [プログラム] がない場合、[参照] をクリックして [WM.exe] を選択します。
5. 画面左下の [スコープの変更] をクリックする
[スコープの変更] 画面が表示されたら接続を許可したいネットワークを以下から選択します。
6. [任意のコンピュータ (インターネット上のコンピュータを含む)] を選択する
7. スコープを選択し、[OK] をクリックする
8. [プログラムの追加] 画面の [OK] をクリックする
9. [Windows ファイアウォール] 画面の [OK] をクリックする。
Wireless Manager ME 3.0 のファイアウォールが解除されます。

困ったとき (つづき)

プロジェクターとパソコンがワイヤレス接続できない (つづき)

〈その他の Firewall を検出したとき〉

ファイアウォール機能を備えたアプリケーションソフトウェアがインストールされていませんか。

ファイアウォール機能を備えたアプリケーションソフトウェアがインストールされていると、[プロジェクターを検索しています] のまま接続できない場合があります。

(起動していなくても、インストールされているだけでファイアウォール機能を発揮する場合があります。)

この場合、ワイヤレス接続を行うためには、ファイアウォールの設定変更を行う必要があります。ファイアウォールの設定方法については、各アプリケーションソフトウェアの取扱説明書をご覧ください。

〈[コンピュータの管理者 (Administrator)] の権限がないとき〉

[コンピュータの管理者 (Administrator)] の権限でログオンしていますか。

[コンピュータの管理者 (Administrator)] の権限がないユーザーや [GUEST] でログオンした場合は、簡単接続 (ネットワーク番号 [1] ~ [4]) はできません。ワイヤレス接続する必要がある場合は、ネットワーク番号 [U] を使用してください。

ネットワーク番号 [U] で接続する場合の設定方法は、49 ~ 51 ページを参照ください。

〈ネットワークの設定エラー〉

[U] で接続する場合、プロジェクターのワイヤレスメニューの設定が正しいか確認してください。(→ 49 ページ)

ワイヤレス接続が切れてしまう

- ① パソコンで使用されているワイヤレス LAN のユーティリティが無線の設定を変更している場合があります。ユーティリティを終了させてから再度、簡単接続で接続を行ってください。
- ② 周囲のワイヤレス環境の影響を受けて接続が切れることがあります。
- ③ TH-LB50NT/TH-LB55NT/TH-LB60NT の場合、接続が切断されても自動的に再接続処理を行います。再接続できなかった場合は、ライブが解除されます。TH-LB50NT/TH-LB55NT/TH-LB60NT でライブが解除となった場合や、TH-LB50NT/TH-LB55NT/TH-LB60NT 以外のプロジェクターで接続が切断された場合は、ランチャーから再度接続処理を行ってください。

困ったとき (つづき)

マルチライブモード中、接続が解除される
<ul style="list-style-type: none">• 本機にインテル Centrino モバイルテクノロジー (ワイヤレス LAN) 搭載のパソコンを接続した場合、そのバージョンによっては、マルチライブモードが解除される場合があります。その場合は、Wireless Manager ME 3.0 のランチャーから、再度接続を行ってください。(→ 23 ページ)
IEEE802.11g で接続できない
<ul style="list-style-type: none">• IEEE802.11g 対応のワイヤレス LAN カード、またはワイヤレス LAN 内蔵のパソコンであっても、IEEE802.11b で接続される場合がありますが、故障ではありません。
転送速度が遅くなった
<ul style="list-style-type: none">• 使用環境 (場所、電波状況、距離など) によっては、遅くなることがあります。• パソコンの無線 LAN アンテナの近くに、金属などの導電体を配置すると転送速度が遅くなることがあります。• WEP の設定を行うと、画像データを変換するため、転送時間がかかります。
画像表示や動画・アニメーションの再生が遅い、スムーズでない
<ul style="list-style-type: none">• パソコン CPU の速度が遅くありませんか。(→ 9 ページ) ライブモードはパソコン CPU 性能に大きく依存します。• 周囲でワイヤレス通信が行われている場合は影響を受ける場合があります。• 「オプション」画面の「画質」で「高画質」を選択している場合には、画面表示が遅くなることがあります。• Windows Media Player がアクティブになっている必要があります。• Wireless Manager ME 3.0 を起動する前に、Microsoft PowerPoint または Windows Media Player を起動していませんか。 上記アプリケーションは、Wireless Manager ME 3.0 の後に起動してください。• [コンピュータの管理者 (Administrator)] の権限がないと速度が著しく低下することがあります。• 他のアプリケーションを同時に起動している場合、遅くなることがあります。

困ったとき (つづき)

パソコン操作と実際の投写映像にタイムラグがある
<ul style="list-style-type: none">• Wireless Manager ME 3.0 はパソコンの画面を取り込んで圧縮してからプロジェクターに送信します。またプロジェクター側では受信したデータを解凍してから投写します。この処理時間とワイヤレスの環境によって遅延時間が発生します。ご使用のパソコンの性能によっても遅延時間に差がでます。
ライブモードでプロジェクターからパソコンの音が出ない
<ul style="list-style-type: none">• Wireless Manager ME 3.0 の「オプション」画面⇒ [送信設定] 項目の [ライブモードの設定] から [ライブモード時に映像と一緒に音声も出力させる] にチェックが入っているかご確認ください。• ライブモードを開始する前に、Player (Windows Media Player、Real Player、Quick Time など) を起動していませんか。 上記アプリケーションは、ライブモードを開始後に起動してください。
動画で投写できないコンテンツがある
<ul style="list-style-type: none">• 基本的には、標準の Windows Media Player で再生できるファイルは投写可能です。 ただし、DRM*設定されているコンテンツの投写や DVD/MPEG2 の投写はできません。 ※ DRM (Digital Rights Management): デジタルデータの著作権保護技術
複数台ライブ/複数台マルチライブで、自分がどのプロジェクターに接続しているかわからない
<ul style="list-style-type: none">• ランチャーの  にカーソルを持っていくと、接続しているプロジェクターのプロジェクター名、ID、状態がポップアップで表示されます。

困ったとき (つづき)

表示スタイルを変更したい
<ul style="list-style-type: none">リモコンの [MULTI-LIVE SELECT] ボタンを押すか、またはプロジェクターメインメニュー (→ 45 ページ) の [本体設定] → [詳細設定] → [インデックス ダブル] を選択して [ENTER] ボタンを押すと、スタイルが切り替わります。
Wireless Manager ME 3.0 の色表示が正しくなく、文字が読みづらい
<ul style="list-style-type: none">[スタート] → [コントロールパネル] → [デスクトップの表示とテーマ] → [画面] をクリックしてください。さらに、[画面のプロパティ] 画面の [設定] タブを開き、[画面の色] を [16 ビット] 以上に設定してください。
ライブモード時、スクリーンセーバーが正常に表示されない
<ul style="list-style-type: none">スクリーンセーバーの種類によって正常に表示できない場合があります。Wireless Manager ME 3.0 の「オプション」画面の [ライブモードの設定] で [スクリーンセーバーを無効にする] にチェックを入れてください。(→ 42 ページ)
インターネットをしながら ワイヤレス接続を行いたい
<ul style="list-style-type: none">インターネット接続が可能なワイヤレス LAN 環境がある場合は、このワイヤレス LAN にプロジェクターを組み込むことによりインターネット接続、ワイヤレス接続の併用が可能となります。(→ 19 ページ)有線 LAN (イーサネット) でのインターネット接続環境がある場合は、有線 LAN でのインターネット接続、ワイヤレス接続の併用が可能です。
WEB 制御画面が表示されない
<p>< 簡単接続の場合 ></p> <ul style="list-style-type: none">ご使用の WEB ブラウザが Internet Explorer 以外の場合、プロキシ設定を手動で解除する必要があります。 <p>< [USER] 接続の場合 ></p> <ul style="list-style-type: none">ご使用の WEB ブラウザのプロキシ設定を手動で解除してください。

商標について

- Microsoft とそのロゴ、Windows、Windows Media、PowerPoint、DirectX は、米国 Microsoft Corporation の、米国およびその他の国における登録商標または商標です。
- インテル、Centrino は、アメリカ合衆国およびその他の国におけるインテル コーポレーションまたはその子会社の商標または登録商標です。
- その他、この説明書に記載されている各種名称・会社名・商品名などは各社の商標または登録商標です。なお、本文中では ® や TM マークは明記していません。

ご注意

- 本製品のソフトウェアおよびマニュアルの一部または全部を無断で使用、複製することはできません。
- 本製品のソフトウェアおよびマニュアルを運用した結果の影響については、いっさい責任を負いかねますのでご了承ください。
- 本製品のソフトウェアの仕様、およびマニュアルに記載されている事柄は、将来予告なしに変更することがあります。

ワイヤレスプロジェクター サポートセンター

本機の設定やオペレーションでご不明なことがございましたら
なんなりとお問い合わせください。

お電話の方はこちら **0120-872601** 受付時間：月～金（祝日と弊社休業日を除く）
9:00～12:00 13:00～17:00

URL: <http://panasonic.biz/projector/>

※書面や電話／FAX を使用しお答えする場合や、返事をさしあげるお時間を頂く
こともございます。

※お電話頂く際には、番号をお確かめの上、お間違えのないようお掛けください。

松下電器産業株式会社
システム事業グループ

TQBH0168-1 (J)
M0306-1036

〒571-8503 大阪府門真市松葉町2番15号 ☎ (06) 6901-1161